

第三者保証

トッパングループのCSRの取り組みの実績や今後の目標・施策は、ここ数年、ISO26000の中核主題に沿って整理され、報告されてきました。CSRレポート2017では、これに加え、「持続可能な開発目標(SDGs)」の個別のゴールとトッパングループの取り組みとの関連性についても整理されています。

これにより、SDGsで示されている社会的課題とトッパングループのCSRの取り組みの関連性がわかりやすく示されるようになりましたが、今後はさらに一歩踏み込み、CSR活動の重要なテーマ(マテリアリティ)についてSDGsの観点から見直しを行ったり、共有価値を創出できる領域をSDGsの視点から特定したりといったことが検討

できると考えます。そして、このような取り組みの成果を報告することを通じて、トッパングループとして重視しているSDGsのゴールに対する貢献を示すことができるようになると思います。

なお、環境目標については、従来から2020年度の中長期環境目標を設定しています。今回、2016年度実績で既に当初目標を前倒して達成している状況にあることから、この中長期目標の一部をより高い目標へ更新しました。こうしたタイムリーな目標設定の見直しも評価に値すると思います。

KPMGあずさサステナビリティ株式会社
吉田 智紀

本レポートにおける保証対象指標

ページ	保証対象指標
人権	24 定年退職者数・再雇用者数
	25 女性管理・監督職数 障がい者雇用人員数・雇用率 採用人員数・経験者採用数
	27 人員数 退職者数・事由 平均年間給与 年次有給休暇の取得状況 産前産後・育児休業の取得状況
労働慣行	28 トッパンビジネススクール受講者数 全社基礎教育eラーニング受講者数 トレーニー制度派遣者数 グローバル選抜研修受講者数
	29 職場の安全・衛生
	30 行動指針推進リーダー数・女性リーダー比率 行動指針推進リーダー研修受講者数 下請法に関する教育の受講者数 外国為替及び外国貿易法による輸出規制の集合研修・eラーニング受講者数
公正な事業慣行	32 木材の合法性調査を実施した取引先数
消費者課題	34 内部監査員養成研修参加者数 品質監査チェックシートに基づく監査実績
環境	40 システム監査数、社内環境監査事業所数
	41 2016年度環境目標・実績 Scope1~3の温室効果ガス排出量
	42 物流におけるエネルギー消費原単位、CO ₂ 排出量
	43 国内における事業分野別の主な環境負荷(INPUT/OUTPUTデータ) CO ₂ 排出量の推移
	44 規制値を超過した事業所数 近隣からの苦情・問い合わせ数
	45 廃棄物総排出量および最終埋立量の推移 リサイクル率/マテリアルリサイクル率の推移 VOC・トルエンの大気排出量推移 PRTR指定化学物質量の推移 土壌・地下水汚染の浄化状況
	46 環境配慮型製品の認定・登録件数 環境関連ビジネスの売上高

なお、トッパンのWebサイトに掲載している「CSRレポート2017詳細データ編」の中にも、保証対象となるデータが含まれています。



本レポートに記載されたサステナビリティ情報の信頼性に関して、サステナビリティ情報審査協会の定める「サステナビリティ報告審査・登録マーク付与基準」を満たしているとして、このマークの付与が認められています。

独立保証報告書



独立した第三者保証報告書

2017年6月26日

凸版印刷株式会社
代表取締役社長 金子 眞吾 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社
東京都千代田区大手町1丁目9番7号

代表取締役

斎藤 和彦

当社は、凸版印刷株式会社(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成した CSR レポート 2017 及び会社のウェブサイトで開示される「CSR レポート 2017 詳細データ編」(以下、あわせて「CSR レポート」という。)に記載されている 2016 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までを対象とした 48 頁の表に示されている環境・社会パフォーマンス指標及び環境会計指標(以下、「指標」という。)並びに重要なサステナビリティ情報の開示の網羅性に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

会社が定めた指標の算定・報告基準(以下、「会社の定める基準」という。CSR レポートに記載。)に従って指標を算定し、表示する責任、また、サステナビリティ情報審査協会の「サステナビリティ報告審査・登録マーク付与基準」(以下、「マーク付与基準」という。)に記載されている重要なサステナビリティ情報を漏れなく開示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」、ISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」及びサステナビリティ情報審査協会のサステナビリティ情報審査実務指針に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主として CSR レポート上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- CSR レポートの作成・開示方針についての質問及び会社の定める基準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める基準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した株式会社トッパンパッケージプロダクツ群馬センター工場における現地往査
- マーク付与基準に記載されている重要なサステナビリティ情報が漏れなく開示されているかについて、質問及び内部資料等の閲覧による検討
- 指標の表示の妥当性に関する検討

結論

上述の保証手続の結果、CSR レポートに記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める基準に従って算定され、表示されていない、または、重要なサステナビリティ情報が漏れなく開示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第 1 号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上